

学校便り
プラハ日本人学校

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

TEL : 233 340 000
Email : gakko@jpschool.cz
No.952 2020/1/6

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

明けましておめでとうございます！

令和2年（2020年）がスタートしました。私の専門は微分方程式ですが、位相幾何学（トポロジー）が専門の教授から、うどんやクロワッサンの作り方を伝授されたり、万葉集の話をしてもらったり、奈良へ万葉集の歌碑を見に連れて行っていただいたりしました。

万葉集は、7世紀から8世紀に読まれた歌をまとめた日本最古の和歌集です。令和の元号を万葉集から推薦されたと言われている、中西進先生の講演も2度ほど聞かせていただく機会がありました。分厚い広辞苑のような万葉集の本を机の上にどんと置いて、「今日は、巻〇、××の歌△△について話します。」と言って、講演を始められたのを覚えています。

新年にちなんで、下記の和歌はいかがでしょう。保護者のみなさまのご協力をお願いしながら、大切な子どもたちの能力をしっかりと伸ばしていきたいと思えます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

<p>あらた 新しき としはじ 年の初めの はつはる 初春の けふ(きょう)ふ ゆき 今日降る雪の しよごと いや頻け吉事 おおとものやかもち 大伴家持 卷二十四五一六</p>	<p>西暦七五九年元旦鳥取県東部の因幡の国司として赴任していた大伴家持の歌 意味 新しい年の初めに立春が重なった今日降る雪のようにますます重なるよ事</p>
--	--

<p>しろかね 銀も くがね たま 金も玉も なにせむに まさ たから 優れる宝 こし 子に及かめやも やまのうえのおくら 山上憶良 卷五 八〇三</p>	<p>卷五 八〇三「子等を思う歌」の反歌。貧窮問答歌でも有名な山上憶良の歌です。 意味 銀も金も宝石もどうしてそれらより優れている子ども（という宝）に宝として及ぶだろうか、いや及ぶまい。</p>
---	---